

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 実施 対象	多額 の経 費対 象	①事務事業の概要 ②課題	27年度 決算額 [千円]	28年度 決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成29年度に取組む改革・改善内容	29年度 予算額 [千円]
1	一般	8	4	1	313質の高い既成市街地の整備	開発指導事務に要する経費	都市計画課			①都市計画法及び宅地開発指導要綱に基づく開発行為等について、公共施設等の整備を義務付ける等により、良質な宅地水準を確保する。 ②宅地造成工事中における近隣対策、中高層建築物における電波障害、日照等への要望及び市街化調整区域における立地要件や既存建物の建替えの相談が増加傾向にある。	2,275	2,359	6精査・検証	①都市計画法に基づく許認可行為であり、今後も精査・検証をしながら、公平・公正に事務をすすめる必要がある。 ②宅地開発指導要綱の手続き部分の条例化について引き続き検討を行う。	2,380
2	一般	8	4	2	313質の高い既成市街地の整備	市街地整備に要する経費	都市計画課			①まちづくり室の各業務に必要な経費の支出。 ②適正な予算計上及び支出のために、項目ごとにその必要性や効率性をよく検討する必要がある。	2,742	5,322	6精査・検証	①効果とコスト削減に配慮しつつ、継続する必要がある。 ②職員の知識向上や、地域との連携に配慮しつつ、より効果的な手法の検討をする。	3,882
3	一般	8	4	2	313質の高い既成市街地の整備	都市軸形成促進事業	都市計画課	○	○	①都市軸の一翼を担う初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。初富駅は、新京成線連続立体交差事業が平成31年度に供用開始に向けたスケジュールが示され、また駅前へのアクセスルート及び駅前広場の必要性から、昨年度整備計画を策定し、今後、地域住民や関係機関と協議を行いながら事業を推進していく。その他関連事業は必要により意見交換等を行う。 ②初富駅周辺地区は、主要地方道及び主要市道に囲まれ交通量が多く、また近隣商業地域という特性から商業施設を含む多くの建物が密集している地区である。このことから事業の推進に伴っては、新たな用地の確保や建物移転等が伴うため、関係住民の理解と関係機関との調整が必要である。	30,511	1,620	7拡充	①事業は市の都市基盤としての整備と、通学路の安全性を高める側面から実施する事業である。 ②引き続き、事業計画について地域住民等の協力、また、事業実施に向けての用地・路線測量及び関係機関との調整を行う。	4,000
4	一般	8	4	2	313質の高い既成市街地の整備	近隣商業拠点整備事業	都市計画課		○	①近隣商業拠点の一つである北初富駅周辺地区では、市民の日常生活に身近な商業等のサービス機能の充実を目指し、駅前広場等の整備に向け事業を推進している。 ②北初富駅周辺の整備に向けて、引き続き関係機関と協議しながら検討していく必要がある。また、整備に必要な用地の取得に向けて、関係地権者との交渉を継続する必要がある。	0	5,410	6精査・検証	①駅利用者の利便性や安全性を向上させるべく、新京成線連続立体交差事業の進捗を見ながら駅前広場等の整備を促進するため。 ②北初富駅周辺の整備について、引き続き関係機関との協議を行い、整備方針を決定する。また、整備に必要な用地取得について関係地権者との交渉を継続する。	0